

新型コロナウイルス感染症予防接種 / 接種の前に必ずお読みください

予診票は、接種を受ける人が責任をもって記入しましょう。

気にかかることや分からないことがあれば、予防接種を受ける前に医師によく相談して、十分に納得したうえで接種を受けるようにしてください。 ※本人の自著ができない場合は裏面のその他参照

副反応

予防接種した部位が赤みを帯びたり、腫れや痛みが出たりすることがあります。また、発熱、寒気、頭痛、全身のだるさなどがみられることもありますが、いずれも通常2～3日のうちに治ります。

極めてまれに、アナフィラキシーがあらわれることがあります。

そのほか、頻度としてはごく稀ですが、心筋炎や心膜炎を疑う事例が報告されています。

有効性



発症予防や重症化(入院)予防の効果があることが国内外の複数の報告で確認されています。

なお、既感染者であっても再感染する可能性はあります。

また、ワクチン接種による追加の発症予防効果が得られることも確認されています。さらに、いずれの年齢群においても、重症化(入院)予防効果は発症予防より高いことが確認されています。

予防接種を受けることができない方

- ① 明らかに発熱のある方(37.5℃以上)
- ② 重篤な急性疾患にかかっている方
- ③ 予防接種の接種液の成分で、アナフィラキシーを起こしたことがある方
- ④ 新型コロナウイルスワクチンの接種液の成分に対しアナフィラキシーなど重度の過敏症を起こしたことがある方
- ⑤ その他、医師が不相当と判断した方

アナフィラキシーとは？

通常、接種後約30分以内に起こる、アレルギー反応のこと
例)発汗、顔が急に腫れる、全身にひどいじんましんが出る、吐き気、嘔吐、声が出にくい、息が苦しいなど

過敏症とは？

アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状

予防接種を受ける上で注意が必要な方

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患などの基礎疾患のある方
- ② 接種後2日以内に発熱や全身性発疹等のアレルギーを疑う症状がみられた方
- ③ 過去にけいれんを起こしたことがある方
- ④ 過去に免疫不全の診断を受けた方および近親者に先天性免疫不全の方がいる方
- ⑤ 接種しようとする接種液の成分によって、アレルギーを起こす可能性がある方
- ⑥ 抗凝固療法を受けている方、血小板減少症または凝固障害を有する方

予防接種後の注意

- ◆ ワクチン接種後24時間は**有害事象**の出現に注意し、観察しておく必要があります。特に接種直後の30分以内は急激な健康状態の変化に注意してください。
- ◆ 接種後は、接種部位を清潔に保ち、接種当日は**過激な運動を避ける**よう注意してください。
- ◆ 接種後、**接種局所の異常反応**や**体調の変化**がある場合、速やかに医師の診察を受けてください。
- ◆ 被接種者の介護にあたる者等は、上記の場合において、被接種者が医師の診察を受けたときは、速やかに当該予防接種を行った市町村の担当部局に連絡してください。
- ◆ 予防接種当日の入浴は差し支えありません。

有害事象とは？

薬物との因果関係がはっきりしないものも含め、薬物を投与された患者に生じたあらゆる好ましくない、あるいは意図しない徴候、症状、または病気のこと

予防接種健康被害救済制度

万一、接種による健康被害が発生した場合には、保健センター健康管理課まで申請いただき、その健康被害と新型コロナウイルス感染症予防接種との間に因果関係があると国に認定されると、医療費等が給付されることがあります。

その他

- ◆ 認知症などで明確な意思の確認が困難な場合には、**ご家族、施設職員、医療機関の方**などによって特に慎重に本人の接種意思の有無を確認し、接種適応を決定する必要があります。最終的に意思確認ができない場合には、予防接種法に基づく接種はできません。
- ◆ 本人の自署が難しい場合は、**ご家族、施設職員、医療機関の方**など、本人の意思を確認できる方が代筆し、代筆者の名前、被接種者との関係性を併せてご記入ください。



所沢市ホームページ



厚労省ホームページ